







(2) 製造業

製造業は対前月比の「売上 DI」悪化が顕著に

今月の製造業の景況は、「売上 DI」が△17.4、「採算 DI」が△9.1、「資金繰り DI」が△9.1 と全ての項目においてマイナスとなっている。また、対前年比においても、「売上 DI」が△4.3、「採算 DI」が△13.0、「資金繰り DI」が△4.3 と全ての項目においてマイナスとなっている。

今後の見通しについては、悪くなると回答した企業の割合は、よくなると回答した企業の割合を 20 ポイント上回っている。

■製造業の景況天気図

時期	比較時期	売上		採算		資金繰り	
		天気	DI	天気	DI	天気	DI
今月	前月		↓ △17.4		↓ △9.1		↓ △9.1
	前年		↓ △4.3		↓ △13.0		↓ △4.3

■今後の見通し

	天気	DI
今後の見通し		↓ △22.7

*DI:よくなると回答した企業の割合-悪くなると回答した企業の割合

■製造業のコメント

- ・特殊なため、車やエレベーターに費用が掛かる（設備投資計画を行わない理由）。
- ・昨年の6月から新事業を開始し、売上は総合計上しているため増加しているが、既存事業だけでは減少傾向にある。

■平成29年8月～10月の調査結果（前回調査）との推移状況

- ・今回調査においても前年の比較をした「売上 DI」・「採算 DI」・「資金繰り DI」は悪化傾向であるが、前回調査での前年の比較より「売上 DI」は 9.3 ポイント、「採算 DI」は 9.7 ポイント、「資金繰り DI」は 4.4 ポイントと悪化の中でも改善傾向が伺える。







(3) 卸売業

卸売業は「売上」・「資金繰り」が横ばいであるものの、「採算」の悪化が続く

今月の卸売業の景況は、「売上 DI」が 0.0、「採算 DI」が△25.0、「資金繰り DI」が 0.0 と、「採算 DI」の悪化が顕著に表れる結果となっている。対象企業数が 5 社と少ないため卸品目毎に見解が異なるが、花木製造販売業は仕入単価が上昇し、売上の圧迫要因となっている模様。対前年比においても、「採算 DI」のみが△25.0 と、単月だけでは無く、厳しい状況である事が伺える。

今後の見通しについても、悪くなると回答した企業がよくなると回答した企業を 50 ポイントと大幅に上回っているが、卸品毎に見解は異なっている。

■卸売業の景況天気図

時期	比較時期	売上		採算		資金繰り	
		天気	DI	天気	DI	天気	DI
今日	前月	 →	0.0	 ↓	△25.0	 →	0.0
	前年	 →	0.0	 ↓	△25.0	 →	0.0

■今後の見通し

	天気	DI
今後の見通し	 ↓	△50.0

*DI=よくなると回答した企業の割合-悪くなると回答した企業の割合

■卸売業のコメント

- ・ SNS は本部からダメと言われている。

■平成 29 年 8 月～10 月の調査結果（前回調査）との推移状況

- ・ 前回調査でも前月比較では「採算 DI」のみマイナスとなっていたが、今回調査においても前年比較・前月比較ともに「採算 DI」のみマイナスとなっており、依然として収益確保が課題となっているものと推察される。







(4) 小売業

小売業は「売上」・「採算」・「資金繰り」いずれも悪化、回復に向けた対策が必須


今月の小売業の景況は、「売上 DI」が△52.9、「採算 DI」が△47.1、「資金繰り DI」が△26.7 と、全ての項目においてマイナスとなっている。対前年比においても同様のマイナス基調となっている。特に「売上 DI」については、前月・前年ともに DI 指数が 50 ポイント前後のマイナスとなっている、仕入単価が高騰している中での景気悪化が向かい風となり、売上に寄与出来ていない現況が伺える。

今後の見通しについては、小売業 18 社中 14 社が悪くなると回答のとおり、産業全体の DI 指標の中で最も悪い△75.0 となっている。

■小売業の景況天気図

時期	比較時期	売上		採算		資金繰り	
		天気	DI	天気	DI	天気	DI
今月	前月		↓ △52.9		↓ △47.1		↓ △26.7
	前年		↓ △44.4		↓ △33.3		↓ △37.5

■今後の見通し

	天気	DI
今後の見通し		↓ △75.0

*DI ↓ になると回答した企業の割合-悪くなると回答した企業の割合

■小売業のコメント

- ・ 値上げしたいが客離れが不安

■平成 29 年 8 月～10 月の調査結果（前回調査）との推移状況

- ・ 前回調査の「今後の見通し DI」では△62.5 と、好材料を見出せていない現状が明らかとなっていたが、今回調査においても「今後の見通し DI」は、前回調査より悪化した△75.0 となっており、顧客の財布の紐を解かせる好材料が見いだせていない様子が伺える。













(5) 飲食業

飲食業は「売上」・「採算」の悪化が顕著に、見通しもさらに厳しい状況



今月の飲食業の景況は、「売上 DI」が $\Delta 60.0$ 、「採算 DI」が $\Delta 33.3$ と悪化している中で、「資金繰り DI」は $\Delta 11.1$ と他指数と比較すると若干の悪化に留まっている。対前年比においては、「売上 DI」・「採算 DI」・「資金繰り DI」の3項目とも前月比とほぼ同じ DI 指数となっている。

しかし、今後の見通しについては仕入単価の高騰ならびに 2019 年 10 月に予定される、消費税増税に伴う売上悪化への危機感が強く表れる結果となり、「今後の見通し DI」は小売業・サービス業に次ぐ悪化を示す $\Delta 70.0$ となっている。

■ 飲食業の景況天気図

時期	比較時期	売上		採算		資金繰り	
		天気	DI	天気	DI	天気	DI
今月	前月		 $\Delta 60.0$		 $\Delta 33.3$		 $\Delta 11.1$
	前年		 $\Delta 55.6$		 $\Delta 33.3$		 $\Delta 11.1$

■ 今後の見通し

	天気	DI
今後の見通し		 $\Delta 70.0$

*DI:よくなると回答した企業の割合 悪くなると回答した企業の割合

■ 飲食業のコメント

- ・午前中のみ営業している状況
- ・消費税が 10%になる事と現在の景気に不安がある。

■ 平成 29 年 8 月～10 月の調査結果（前回調査）との推移状況

- ・前回調査でも「売上 DI」の対前年比は $\Delta 55.6$ とマイナス幅の大きさが危惧されていたが、今回調査においても「売上 DI」の対前年比は $\Delta 55.6$ と同一指数であった。
- ・消費税増税を目前に控え、「今後の見通し DI」は前回調査での $\Delta 14.3$ から大きく悪化の $\Delta 70.0$ となった。







(6) サービス業

サービス業は「売上」・「採算」・「資金繰り」いずれも悪化傾向

今月のサービス業の景況は、「売上 DI」が△40.0、「採算 DI」が△20.0、「資金繰り DI」が△14.3と「売上 DI」のマイナスが目立つ結果となっている。対前年比においても、「売上 DI」が△28.6、「採算 DI」が△28.6、「資金繰り DI」が△25.0と、「売上 DI」は対前月比より良化傾向ではあるものの、収益確保が課題となっている様子が推察される。

今後の見通しについては、悪くなると回答した企業の割合は、よくなると回答した企業の割合を 70 ポイント以上上回り、小売業に次ぐ悪化の△71.4となっている。

■ サービス業の景況天気図

時期	比較時期	売上		採算		資金繰り	
		天気	DI	天気	DI	天気	DI
今月	前月		△40.0		△20.0		△14.3
	前年		△28.6		△28.6		△25.0

■ 今後の見通し

	天気	DI
今後の見通し		△71.4

*DI-よくなると回答した企業の割合-悪くなると回答した企業の割合

■ サービス業のコメント

- ・消費税率 10%に向けての対策が経営上の問題である。

■ 平成 29 年 8 月～10 月の調査結果（前回調査）との推移状況

- ・前回調査においては各項目で「不変」と回答する企業が多く、「今後の見通し DI」では特に動向が読み取りづらい傾向があったが、今回調査では「売上 DI」の悪化に準ずるように「今後の見通し DI」も悪化している。
- ・前回調査では対前年「売上 DI」は 7.7 と良化していたが、今回調査では△28.6 と 36.3 ポイントの悪化となった。













(7) その他

その他は対前月比の「売上」はプラスとなるが、その他項目では悪化傾向



今月のその他の景況は、「売上 DI」が 14.3、「採算 DI」が△14.3、「資金繰り DI」が△14.3 となり、今回調査内で唯一「売上 DI」の項目でプラスとなっている。しかし、対前年比においては「売上 DI」・「採算 DI」・「資金繰り DI」のいずれも△14.3 と楽観視出来ない状況となっているが、業種毎に認識は大きく異なるが、一部の不動産業では景況は良化とする回答も見受けられる。

今後の見通しについては、悪くなると回答した企業の割合は、良くなると回答した企業の割合を 14.3 ポイント上回っている。

■その他の景況天気図

時期	比較時期	売上		採算		資金繰り	
		天気	DI	天気	DI	天気	DI
今月	前月	 	14.3	 	△14.3	 	△14.3
	前年	 	△14.3	 	△14.3	 	△14.3

■今後の見通し

	天気	DI
今後の見通し	 	△14.3

*DI:良くなると回答した企業の割合-悪くなると回答した企業の割合

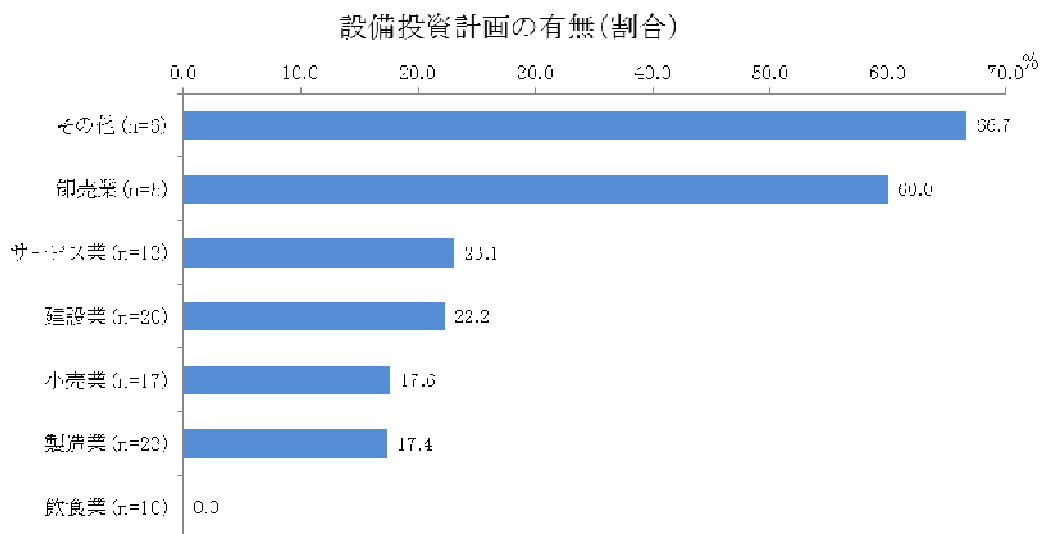
■その他のコメント

- ・記載事項なし

■平成 29 年 8 月～10 月の調査結果（前回調査）との推移状況

- ・前回調査での対前年比は「売上 DI」が 11.1、「資金繰り DI」が 12.5 かつ「今後の見通し DI」が 20.0 と、調査対象業種の中では好調さが伺えたが、今回調査では対前年比の項目全てがマイナスかつ「今後の見通し DI」も△14.3 と暗転している。

3. 設備投資の計画



4. 経営上の問題

業種	順位	経営上の問題点	割合*
建設業	1	人材確保・育成	52.4%
	2	販路の確保・開拓 需要の停滞	33.3%
製造業	1	設備の老朽化	41.7%
	2	人材確保・育成	33.3%
	3	外注先・仕入先・協力企業の確保	29.2%
卸売業*	1	販路の確保・開拓	80.0%
小売業	1	需要の停滞	61.1%
	2	販路の確保・開拓	50.0%
	3	外注先・仕入先・協力企業の確保	27.8%
飲食業	1	原材料・仕入価格の高騰	60.0%
	2	その他 *	40.0%
	3	人材確保・育成 人件費増加	30.0%
サービス業	1	人材確保・育成	46.7%
	2	外注先・仕入先・協力企業の確保	33.3%
	3	後継者・事業継承	26.7%
その他	1	販路の確保・開拓	57.1%

*割合=選択企業数/業種ごとの企業数

*10件未満は件数の1番多い項目のみを掲載